

～地域防災と平時・発災時の在住外国人対応について～

Hola!

你好

Salut!

こんにちは

स्वा

Привет!

セミナーの
ポイント!

近年、海外から日本へ就労・就学で来日する外国人が増えてきています。今後、地域防災に在住外国人に関わってもらうことで大きな力になります。

セミナーでは、関西の外国人の状況をデータで学び、今後の地域防災に外国人も関わっていく意義について、3名の講師に事例や経験をお話いただきます。今まで外国人と接した経験がなくとも、言語ができなくとも、外国人と協力することは可能です。セミナーは、地域に住む外国人住民との関わり方及び外国人を含めた地域防災活動に繋がるヒントを得ていただける内容としております。多文化共生防災の取組に興味のある方、また、今後その活動に関わっていききたいという意欲のある方のご参加、お待ちしております。



特定非営利活動法人 日本防災士会理事長
室崎 益輝氏 【講座】多文化共生における防災士の役割

1944年兵庫県生まれ。67年京都大学工学部建築学科卒業。京都大学助手、神戸大学工学部助教授、同大学工学部教授を経て、97年より同大学都市安全研究センター教授。同大学を退職後、2004年4月より独立行政法人消防研究所理事長、06年4月より消防庁消防研究センター所長。08年4月より関西学院大学教授、17年4月より兵庫県立大学減災復興政策研究科長、2022年4月より減災環境デザイン崎室顧問。03年よりイー・ウーマン「働く人の円卓会議」議長。この間、京都大学防災研究所客員教授、中央防災会議専門委員、消防審議会会長などを歴任。日本建築学会賞、日本火災学会賞、防災功労者内閣総理大臣表彰、兵庫県社会賞、神戸新聞社会賞などを受賞。著書に『地域計画と防火』『ビル火災』『危険都市の証言』『建築防災・安全』など多数。



特定非営利活動法人 多言語センターFACIL
山口 まどか氏 【講座】外国人住民への平時の防災知識普及と防災における関わりについて

神戸市に生まれ育ち、中学生で阪神・淡路大震災を経験。大阪大学人間科学部を卒業後、一般企業を経て、西宮市の消防士として8年間現場勤務。2014年からJICA海外協力隊（防災・災害対策）として中米のエルサルバドルで2年間活動。帰国後2016年から現在まで、神戸市長田区にある多言語センターFACILに勤務、防災や多文化共生のまちづくりに携わる。また2020年より兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科修士課程で防災、まちづくり、地域活動について学ぶ。



城陽市国際交流協会事務局長
大久保 雅由氏 【講座】国際交流協会の災害時外国人支援

神戸市生まれ。京都府城陽市育ち、京都市在住。
1991年～2001年オーストラリア・メルボルンにて10年間多文化主義を経験。
2002年より城陽市国際交流協会に勤務し、2006年より事務局長。東日本大震災、熊本地震における外国人支援に携わる。地方都市の災害時外国人支援について連携作りなどを提唱している。
2010年多文化共生マネージャー認定（一般財団法人自治体国際化協会）2019年災害時外国人支援情報コーディネーター（総務省）2022年災害時外国人支援情報コーディネーター（京都府）

日程：2023年2月8日（水）13:30-16:00

場所：オンライン（ZOOM）申込締め切り後、前日までにZoom情報をメールにてお知らせします。

対象：地域防災に関心のある方（防災士の方歓迎）、自治体・国際化協会、地域ボランティア等

主催：JICA関西

協力：日本防災士機構、日本防災士会、多言語センターFACIL、城陽市国際交流協会

お問い合わせ JICA関西市民参加協力課

申し込み方法（申し込み〆切2月6日（月）17:00）

Tel:078-261-0384 担当：山本
（対応時間:平日10:00-12:30, 13:30-17:00）

Mail:Yamamoto-Seiya@jica.go.jp

右のQRコードを読み取ってフォームに入力するか、以下のURLよりアクセスしてください（所要時間3分）

<https://forms.office.com/r/dTxy6zVbeW>

申込締め切り後、前日までにZoom情報をメールにてお知らせします。

